

日時：2023年 6月 16日（金） 15:00～16:50（中国時間）

セミナー形式：Zoom Webinar

定員：500名
参加費：無料

● セミナー概要 ●

昨年までのゼロコロナ政策も年初より緩和され、並行して日中間の往来も徐々に回復してきました。コロナ期間中、駐在員の交代が止まっていた企業も4月以降順次行われつつあります。

その中で中国では今まで大きく話題になっていなかった「駐在員のストレス⇒うつ病のリスク」というキーワードが目立つようになってきました。以前の中国とは違い、中国経済が発展し経済大国になるにつれて中国人従業員の仕事に対する価値観も変わってきている点が大きいです。

「以前は指示したことを従順に遂行してもらっていたのに今は理由を伝えないとやらない」、「自社の中国人従業員が中国国内の競争からくるストレスからうつになってしまった」などメンバー管理をしていくうえで悩みはつきません。その結果、駐在員自身がうつになってしまうという悪循環が増えてきています。

今回のセミナーにおいては駐在員ご自身のうつ病に対してのリスク、回避方法、社内のメンバーにうつ病者が出てしまった時はどうすればよいか？を医師、及び弁護士より解説させていただきます。

● セミナー内容 ●

【第一部】
珍しくないうつ病を知っておくべきこと
(45分)

1. 中国におけるうつ病
2. うつ病の特徴
3. 診察時の判断基準
4. アラームサインについて
5. ストレスの解消法

【第二部】
うつ従業員の法的対応について
――実例も踏まえて（45分）

1. 労使関係におけるうつ病の現状
2. うつ病従業員に関する法的保護
3. うつ病従業員への対応―事例・実例も踏まえて
4. 経営者・管理層から見る問題点・注意点

【第三部】
企業としてやっていただいた方がよいこと。
(15分)

1. 意外と知らない「見えないストレス」
2. 日本本社としてどう対応するか？
(駐在社員の赴任前、赴任後)
3. 現地でのサポート体制を構築する。

こちらのURL（若しくは右記のQRコード）からお申し込みください。

<https://wj.qq.com/s2/12335114/6733/>

※事前質問等は登録画面の質問とコメントにご記入ください。

※参加条件：同業者様のご参加はお差し控えてください。



● 講師紹介 ●

【第一部】講師 MGクリニック（元コロロビアクリニック）唐 薇 精神科医師 心理カウンセラー 医学博士

- ・ 上海復旦大学医学院卒業、日本留学経験あり、医学博士取得
- ・ 10年以上在上海日本国総領事館医務官補佐の従事経験あり。また約20年間心理カウンセリングの臨床経験を持つ。
- ・ 現在は上海外資系クリニックにて日本人の駐在員や中国の高級人材の心理カウンセリングを行う。多くの日系企業、外資系企業、上海企業家協会、杭州女性企業家サロンなどで講演。心理問題の予防や生活に支障が出ている方々の心のケアに対し注力している。

【第二部】講師 開澤法律事務所 王 穩 弁護士

- ・ 日本東京大学法学士、日本一橋大学民法修士、1995年中国弁護士資格取得
- ・ 中国及び日本の法律・ビジネススタイル・思考・文化に精通
- ・ 中国における日系企業へ経営アドバイス(人事労務、債権問題、許認可関連、知的財産等)、調査、法的分析・最善スキームのアドバイス、企業投資、再構築業務経験豊富

【第三部】講師 上海マイツコンサルティング有限公司 経営企画室 室長 有泉 克敏

- ・ 2009年より上海に滞在し通算13年。人材紹介、人事労務対応の業務経験を持つ。2017年10月より上海マイツ咨询有限公司に勤務。現在は経営企画室にて商品開発、広報活動等に従事している。

お申込み時にご連絡頂いたメールアドレスへ、視聴用URLをお送り致します。
セミナー当日、開始時間になりましたら視聴用URLをクリックしてセミナールームへご入室ください。

【セミナーへのご参加前に必要な準備】

- ・ 今回のセミナーでは、Web会議システム「zoom」を使用します。
- ・ インターネットに接続可能なパソコン又はタブレットをご用意ください。
- ・ パソコン・タブレットのスピーカーを、音が聞こえる状態に設定してください。

【問い合わせ】
会社名 マイツ 上海
TEL：+86-21-6407-8585
(内線：326)

Mail：sunxy@myts-cn.com
担当：孫・有泉